

姉妹都市として新たに出発

鳥取市とドイツ・ハーナウ市

十一月十九日から二十一日まで、かねてから友好都市として交流が続いているドイツ・ハーナウ市の訪問団が来鳥され、姉妹都市提携協定を交わしました。これにより、二十一世紀における両市の新たな関係がスタートしました。



今回、鳥取市を訪れたのはマルグレート・ヘルテル市長、ヴォルフガング・ヴァルター市議会議長ら四人のみなさん。初日は、西尾市長、沢根市議会副議長を敬訪問。翌二十日はヘルテル市長が鳥取市議会場で記念演説を行った後、両市長が姉妹都市提携協定書に署名。固い握手を交わしました。

ヘルテル市長が「日本とドイツは遠く離れている。しかし、それを乗り越えて両市の経済・文化、そして市民レベルでの交流がさらに発展することを期待している。」と述べたのに対し、西尾市長も「環境政策の先進国であるドイツに学ぶため、関係者の派遣なども検討している。そのほか、経済、文化、教育などあらゆる面での交流を支援していきたい。」と述べ、今後の交流推進への意欲を確認しました。

訪問団一行は市役所一階ロビーの姉妹都市紹介コーナーに移動。新たに設置されたハーナウ市ブースの除幕式に臨みました。その後、記念パネ

ル展開幕式に出席のため、わらべ館を訪問。午後からは、鳥取市営サッカー場パードスタジアムを視察した後、経済交流会、文化交流会に出席し、関係者と活発な意見交換を行いました。

最終日の二十一日は、鳥取環境大学を訪れ、静かな環境に恵まれた新しい大学キャンパスを視察しました。その後、一行は湖山池公園に移動。姉妹都市提携を記念して植樹を行い、三日間にわたる訪問日程を終了しました。

これまで行政・民間レベルでさまざまな交流が続けてきた鳥取市とハーナウ市。正式な姉妹都市となったことで、今後さらなる交流の発展が期待されます。



姉妹都市提携協定書